

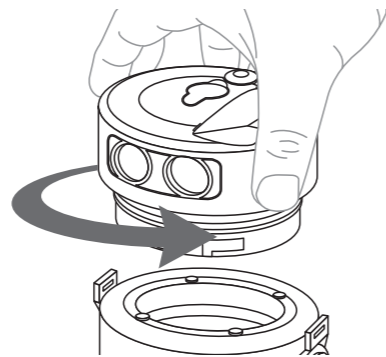
1 準備をする



重要な
注意事項

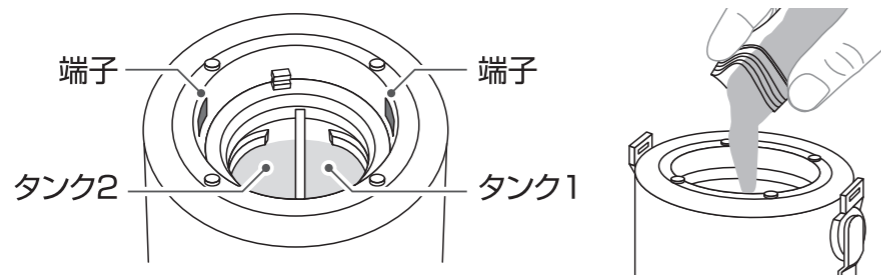
- 照明の光量が弱くなったりUSB充電が不可能になった場合、マグネシウム棒と塩水を交換してください。
※USB充電は照明よりも電力を要するため、照明は使用可能でも充電は不可能な場合がございます。
- 本機を24時間以上使用しない場合は塩水を排水し、本機の洗浄を行ってください。※別売のマグネシウム棒と塩がございます。
- スマートフォンを充電する場合は、必ず15分位前照灯(強)を点灯し、化学反応を促進させてから消灯して直ぐに充電してください。

1 上蓋を反時計回りに回転させて本機のロックを解除し、持ち上げて取り外します。



2 ●付属の塩袋を使用する場合

付属している塩袋をタンク1に1袋(15g)タンク2に1袋(15g)を入れます。



※塩はタンク1・タンク2に確実に入れてください。塩の量が不均等になると発電能力が低下します。

※塩を入れる時に端子に塩が付着しないように入れてください。端子に塩が付着した状態でご使用すると錆の原因となります。

●市販食塩を使用する場合

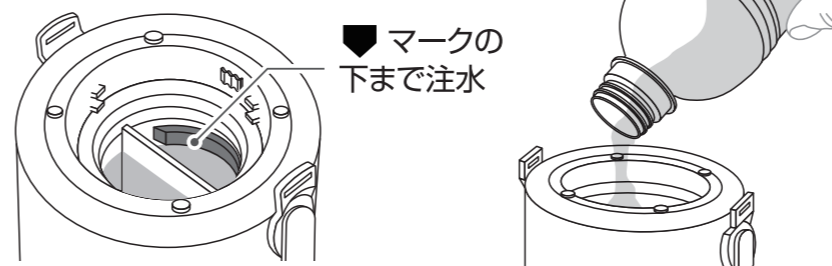
塩を計量します。
塩計量くぼみに塩を入れ、擦切ると15gになります。

※蓋から直接入れ難い場合は、一度紙の上に塩を移すなどして、そこからタンク内へ塩を入れてください。



3 タンク内側面の▼マークの下まで注水をお願いします。タンク1・タンク2どちらも入れてください。

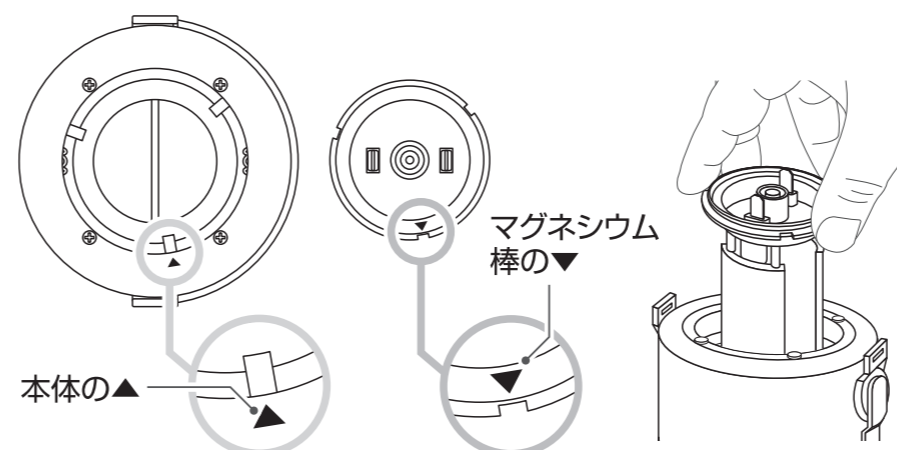
※水を入れすぎると水漏れの原因となります。
※タンク1とタンク2は中で繋がっていません。
各タンクに同量の水を入れてください。



緊急時は、水の代わりに尿の使用や、塩水の代わりに海水でも発電可能です。但し不純物が混じっている為、通常の塩水を使用する場合より発電能力が低下し、USB充電はできません。

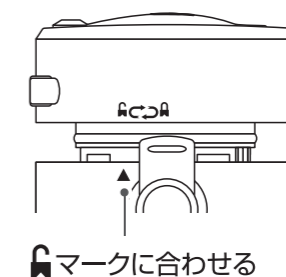
4 マグネシウム棒の▼と本体の▲を合わせて、タンク内にマグネシウム棒を挿入します。

本体上面 マグネシウム棒上面

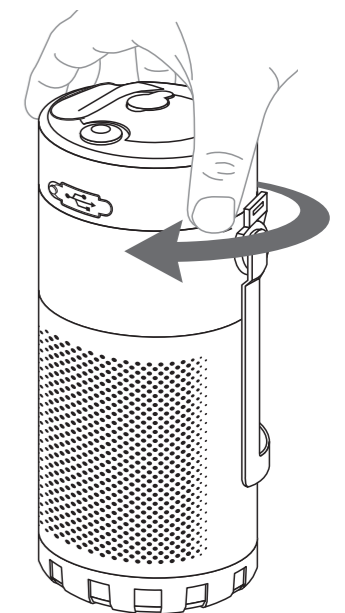
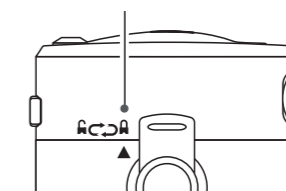


5 上蓋の横にある⌒マークと本体の▲マークを合わせ、時計回りに回転させます。▲マークを⌒マークの位置まで回すとロックが完了します。

※水が漏れないようしっかりと閉めてください。

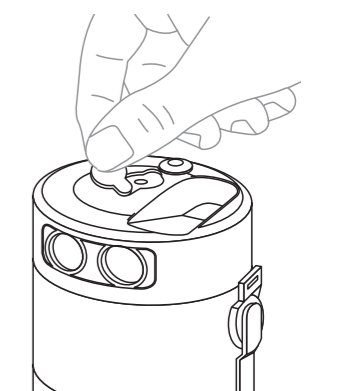


上蓋を▲マークの位置まで回す



6 左右に30回振って塩と水を混ぜてから上蓋のゴム栓を開けます。

内部で化学反応が起こりガス(無害)が発生するため、必ず開けてください。



注意

- 通気口からは空気を取り入れています。塞いだり水没させないでください。
- 内部は2つの分離されたタンクになっており、それぞれのタンク(タンク1・タンク2)に指定量の水と塩を入れないとスマートフォンの充電を行う事は出来ません。

2 使用方法

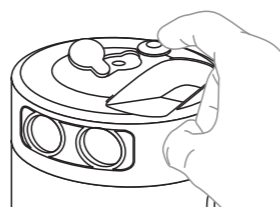
⚠ 注意

●注水後、すぐに充電する場合、前照灯(強)で15分位点灯させたのち、消灯してから充電してください。●スマートフォンの状態によっては100%まで充電ができない場合があります。●充電はすべてDCPモードとなり、機器によっては充電出来ない場合がございます。●充電するスマートフォンの純正USBケーブルをご使用ください。●充電中は水に濡れないようご注意ください。●急速充電のみ対応のスマートフォンは、充電ができません。一度本機より市販のモバイルバッテリーへ充電を行い、モバイルバッテリーからスマートフォンへ充電を行ってください。●低温時に充電が出来ない場合は、タンク1、タンク2にそれぞれ大さじ1杯程度を上限に塩を追加することで充電が出来る場合があります。但し塩を追加した場合、発電時間は短くなります。●灯りと充電を同時に使用する場合、充電機器によっては充電できない場合があります。消灯をして充電を行うか、モバイルバッテリーをご使用ください。●使用中、本体が温かくなりますが、故障ではありません。最大発電時、本体温度が体温より若干高くなります。低温火傷の恐れがありますので、長時間、直接肌に触れないようご注意ください。

照明として使用する

1

準備が整った状態で
(裏面[準備をする]参照)
LEDスイッチを押
します。



2

前照灯 (弱)

前照灯 (強)

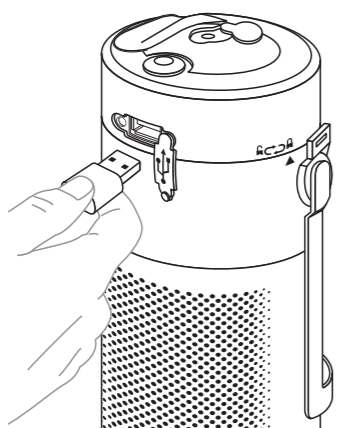
周囲灯

の3種類があり、
ボタンを押す度にモードが変化します。

USB機器の充電(スマートフォン等)

1

準備が整った状態で(裏面[準備をする]参照)
お手持ちのUSBケーブルを使用して、
充電する機器とUSBポートを接続す
ると充電が開始します。



灯りがついた状態では
USB充電ができない
場合があります。



塩水や残留物に直接
触ると手が荒れる場合
があります。

※LEDスイッチとは無関係に充電できます。

※USBケーブルは充電する機器の純正ケーブルをご使用
ください。

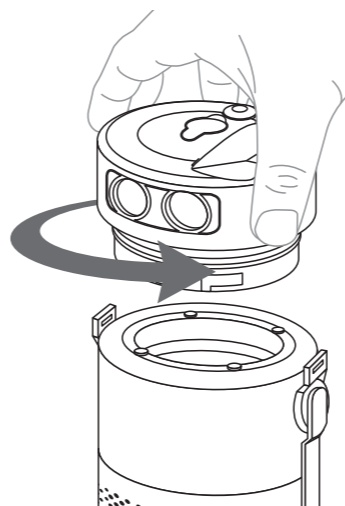
3 排水・洗浄方法

⚠ 注意

●故障の原因となりますので、ご使用後は直ちに洗浄を行ってください。●使い終わったマグネシウム棒は、燃えないごみとして処分をしてください。●発電によって発生する反応物は無害な水酸化マグネシウムですが、底に1cm程度溜まりますので、水道へ流すと詰まる恐れがあるため燃えるごみとして出して下さい。塩水はそのまま流しても問題ありません。●排水は濡れても問題の無い場所で行ってください。●一時的に使用を止めたい場合は、マグネシウム棒を本体から取り外しておく事をお勧めします。●24時間以上使用しない場合は、タンク内の塩水と反応物を捨て乾かして保存をしてください。

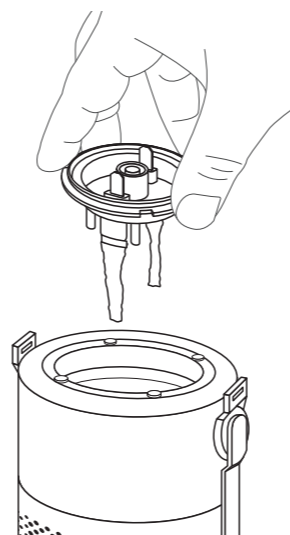
1

上蓋を反時計回りに
回転させてロックを
外し、持ち上げて取
り外します。



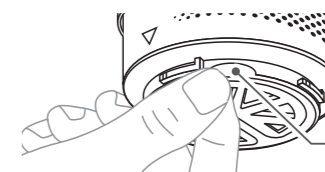
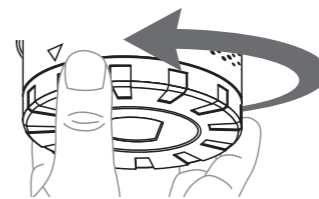
2

タンクから使い終
わったマグネシウム
棒を取り出します。



3

底蓋を回し開け、底蓋パッキンをつまんで外します。
タンク内に溜まっている塩水とマグネシウム棒の反
応物を取り出します。 ※反応物は燃えるゴミとして出して下さい。



つまみ場所

4

引き続き
使用する場合

塩水とマグネシウム棒の反応物を振り
落とし、本体や金属端子を軽く拭取り、
そのままご使用ください。

保管する場合

水ですすぎ、内部を綺麗に洗浄してくだ
さい。錆の原因になるのを防ぐため、本
体を拭き、本体や金属端子を完全に乾
かしてから保管をしてください。

※使用途中のマグネシウム棒は乾燥させて保管をしてください。

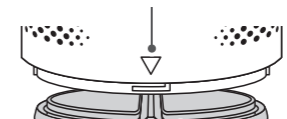


本体内部の洗浄に、歯ブラシや器具などを絶対に使用し
ないでください。本体内部を破損し故障の原因となります。

5

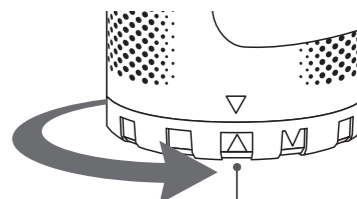
①底蓋パッキンを取り付けます。
②本体の▽マークと底蓋の▽マークを合わせます。
③底蓋の△マークを本体の▽マークまで合わせるよう
に回してロックします。

② 底蓋の▽マークに合わせる



① 底蓋
パッキン

② 本体の▽マークに合わせる



③ 本体の▽マークまで回す